

科目名	看護学概論 I				
担当講師名	清水里香子	所属・役職	技術主幹兼副学院長兼 教務科主任	資格・免許	看護師
授業形態	講義・演習	単位数・時間数	1 単位 30 時間	開講年次	1 学年前期
講義の概要	<p>看護学全般の概念をとらえ、看護の位置づけと役割の重要性を認識し、看護実践者として必要な知識と態度を身につける。</p> <p>「看護とは何か」を明らかにするため、看護実践の原理と倫理、看護の提供者である看護職者の教育・制度・組織・看護に対する社会的要請、看護の活動領域の広がりなど多角的な観点から検討する。講義・演習・グループワークなどを行いながら看護学全般に対する学問的基盤の土台を形成する。</p>				
到達目標	看護全般の概念を捉え、看護の位置づけと役割の重要性を認識する				
講義回数	講義内容				
1	看護を学ぶにあたって				講義・演習
2	医療を取り巻く社会状況				講義
3～5	「理想の看護師像」				GW・発表
6～10	<p>看護とは</p> <p>看護の変遷</p> <p>看護の概念、定義、看護の本質</p> <p>看護理論</p> <p>役割と機能、継続性と情報共有</p>				講義・演習
11	<p>看護の対象の理解</p> <p>人間の「こころ」と「からだ」「暮らし」の理解</p> <p>家族の機能からとらえた家族の健康上のニーズ</p>				講義・演習
12～14	<p>国民の健康・生活の全体像</p> <p>健康のとらえ方 人々の生活と健康に関すること</p> <p>ヘルスプロモーション</p> <p>健康状態と看護 急性期・慢性期・リハビリテーション期・終末期</p>				講義・演習
15	<p>看護の提供者</p> <p>職業としての看護</p> <p>看護職の資格と養成に関わる制度 継続教育</p>				講義
教科書等	<p>教科書：「看護学概論」「臨床看護総論」 医学書院</p> <p>参考図書：「看護の基本となるもの」「看護覚え書」 日本看護協会出版会</p> <p>適宜、資料配布</p>				
成績評価方法	出席状況、授業参加状況、課題レポート、筆記試験等により総合的に評価する				
履修上の留意点					
特記事項					

